

# 大地から小さな学校のおたより

ブラジル第三アリアンサ富山県日本語学校便り

NO3 10月号



ブラジルは、だんだん暑くなってきました。10月も半ばを過ぎるとマンゴ어의収穫時期になります。マンゴーを食べてみたのですが、とても美味しかったです。日本のスーパーで見られるマンゴーとは違い、一回り大きなマンゴーで、見た目も赤と黄色の混ざったマンゴーです。中身は黄色で、甘酸っぱく、実が引き締まっていて、日本では食べたことがないので、とても贅沢な味がしました。

アリアンサでは、牧場の他、マンゴー畑を経営している人たちがたくさんいます。先日、マンゴー研究会の会合に呼ばれたので、行ってみました。今年は雨が少ないので、良質のマンゴーがとれ、値段も高く売買できそうだと言っていました。富山県日本語学校の生徒たちの家でもマンゴー畑を経営している所があります。忙しい時には、生徒達も家のお手伝いをしています。

先月号でもハチ鳥の話題に触れました。今回はこの鳥です。私は授業が終わると控室で仕事をしています。学校の裏戸からは、牛、馬、アルマジロ、山猫などが見ることができます。見るたびに、写真を撮ろうと手元にカメラを持っているのですが、気がついた時には、もういません。今回はたまたまこの鳥を写すことができました。



## 低学年林間学校がありました

今年の低学年林間学校は、ここ第3アリアンサが主幹校でした。今年は、チャンバラ風船割りリレー、凧上げ、オリエンテーリングをしました。第3アリアンサでは、生徒と保護者が一緒になって準備をしました。凧上げの竹ひご、紙なども用意しました。みんなナイフの使い方が上手でした。

当日は、近隣校の生徒が76人集まりました。チャンバラ風船割りリレーは、新聞で作った兜をバトン代わりにして走りました。針のついた新聞の棒で風船を割ったのですが、なかなか上手く割れなかった子もいました。みんなとても楽しんでいました。凧上げは思ったより難しく、くるくる回ってしまう子供がいました。でも尻尾の付け方を変えたり、糸の付け方を変えたりして、自分で工夫して飛ばしていました。中には空高く飛ばせるようになった子供もいました。オリエンテーリングでは、はじめる1分前に大雨が降ってしまい、外での活動ができなくなりました。急ぎよ、雨天時用のオリエンテーリングに変更しましたが、ゲームや問題など、みんな楽しんでいました。



## ブラジルにも蛍

昔中学生のころ、富山を舞台にした「蛍川」という小説を読んだ時に、富山はなんて素敵なおとこだろうと思いい、いずれ小説にある「いたち川」に行って蛍の群れを見てみたいと願って、富山の大学にきました。小説のような群れとは言わないまでも、たくさんの蛍を見た時にはとても感動したことを覚えています。

ここアリアンサでも、蛍を見ることができます。以前タイに滞在していた時も見ることができました。蛍は日本のものだと思っていたのですが、私が滞在した先には、必ず蛍がいるので、蛍には縁があるのだと思いました。

## 10月の授業風景



幼・小の部では、大きな自画像を描きました。そこに日本語で体の部位名を書き、ペンを使うときは色の勉強をしました。次の時間には自分の絵や友達の絵に指差ししながら「ここは目です」「ここはぼくの鼻です」「ここは さんの耳です」と言って勉強しました。

「先生、これ貸してください」などのお願いする言葉も、20語全部覚えてしまいました。学校で少しずつ日本語が使えるようになってきました。

中・高の部では、形容詞の復習をしています。みなさん、日本語には形容詞の否定形や過去形があることを知っていましたか。私は最初にこの話を聞いた時、「そんなのあったかな」と思いました。例えば「明るい」の否定形・過去形と言われてもなかなかピンとこなかったのです。「明るくない」「明るかった」のように「い」が「くない」「かった」と変わります。しかし私は当たり前のように日本語を使っているのに、「明るい」が変化しているとは気がつかないのです。そして「きれい」は形容動詞で「きれいではありません」「きれいだった」と変化します。「明るい」と「きれい」はどのように説明したらいいのでしょうか。

日本語教育では、それらの単語の語尾に「な」を付けて判別するようにしています。「明るいな」とは言いませんが「きれいな」と言います。これを「な形容詞」、そして変化しないものを「い形容詞」と言います。「い形容詞」は「くない」「かった」と変化し、な形容詞は「ではありません」「だった」と変化します。

今まさに生徒たちはこれを勉強しています。やはり「い」と「な」の区別をつけることが難しいようです。それに加えて、否定形・過去形があるので混乱してしまいます。形容詞一つにしてもいろいろ勉強しなければなりません。少しずつ覚えていきます。

## 先生の日？

ブラジルでは、なんと「先生の日」があります。10月には、その他に子供の日があります。今回は保護者主催の、先生と子供を祝う会をしてもらいました。みんなでピザを食べました。ピザやスパゲティは、ブラジルでは普通に食べられています。

みんなで食事を楽しんでいると、日本でおなじみの誕生日のテーマソングのメロディに合わせて、みんなが歌い始めました。するとケーキが出てきて、私の手にはナイフを渡され、「歌が終わったらケーキを切ってください」と言われました。まるで日本の結婚式のような感じでした。私は独身なので、「独身生活と一緒に結婚してしまうのか」と複雑な思いでケーキを切りました。

でも本当は、このサプライズは、嬉しくて嬉しくてしかたありませんでした。皆さんの気持ちがよく伝わってきました。それと同じくして「頑張るぞ!」と思いました。本当にありがとうございました。

